

ISDNサービスからの移行をご検討中の
企業間データ連携/ネットワーク管理者様必見!

HULFT

2024年1月に終了予定

**【ISDN終了ベスト対策】
マイグレーションなら
利用者様の移行負担なしの
“配布型HULFT(仮称)”がオススメ!**

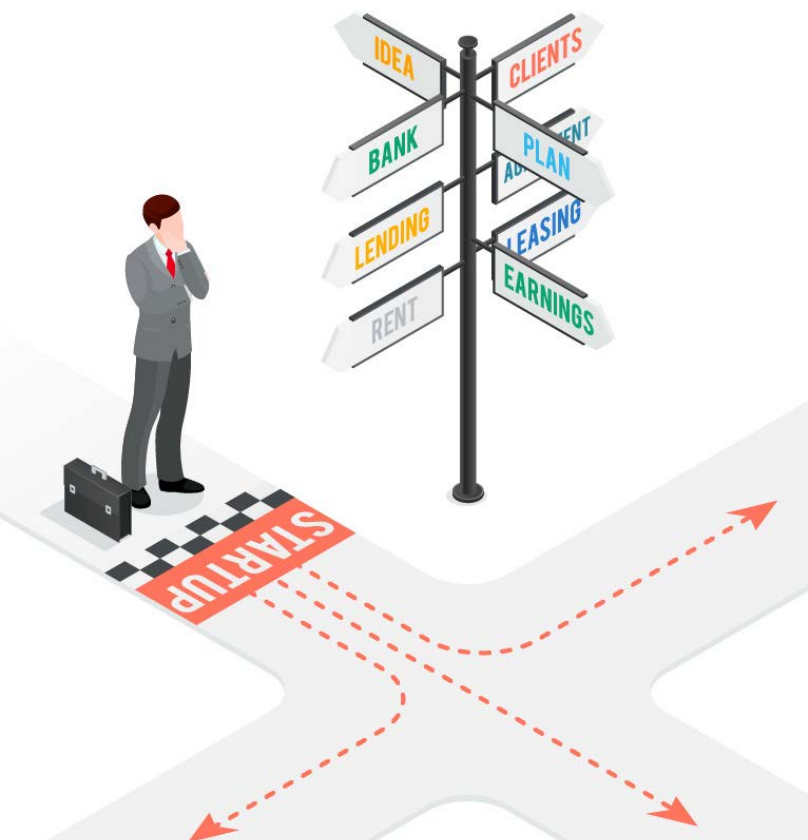
第1.0版

**セゾン情報システムズ
HULFT事業部**

ISDN終了に伴う移行を成功させるためには？

■ システム更改に合わせた実施がベスト

2024年に必ず起きるISDN終了。この切り替えによる影響は甚大です。
しかし通信回線の変更以外、**業務自体は何も変わりません。**



ならば、
よりセキュアで、
相手側の移行の負担が少ない
ほうがいい!!

システム更改で最も頭を悩ますもの… …

■ 企業のシステム担当者の方にヒアリングした結果

システム更改を企画・開発する担当者にお伺いしたところ、

大きな課題はサービス利用企業様（相手側）に対する“調整”でした。

- ・セキュリティへの不安
- ・移行手順や機器変更の依頼
- ・移行費用の負担



重要なのは利用者様の移行負担軽減です！

■ その課題、**全銀協加盟銀行様100%利用**の
“HULFT Series”で解決しませんか？



開発生産性



伝送機能充実



確実な転送

- ✓ 導入簡単・設定不要
- ✓ 低コスト
- ✓ 高セキュリティ

今お持ちの環境に“配布型HULFT(仮称)”を加えることで
利用者様の移行負担を圧倒的に軽減できます。



配布型HULFT(仮称)で利用者負担の課題を解決

■ 運用はそのまま、変更はネットワーク回線周りだけ!

■ これまでHULFT転送をISDN回線を使用している場合

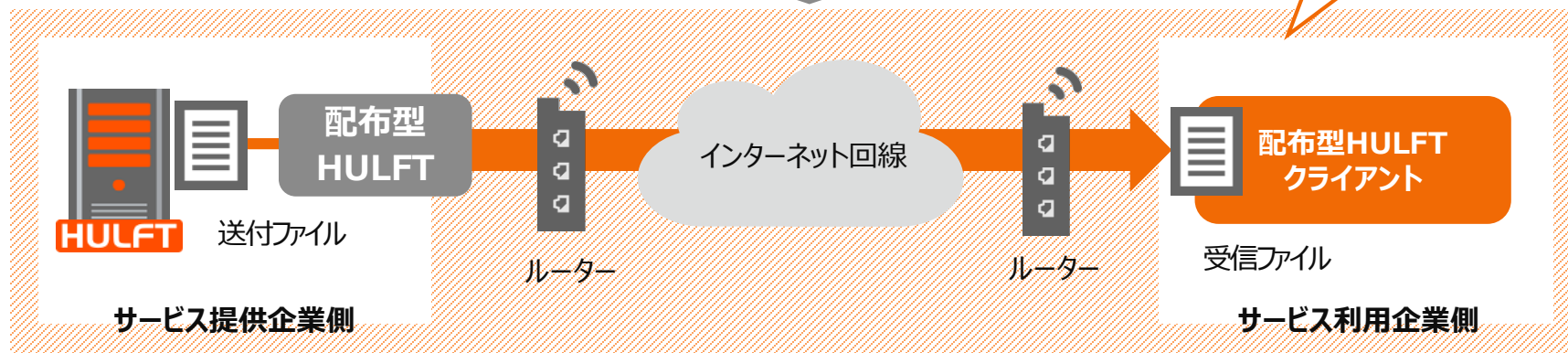


システム変更が
発生するのは
赤枠の部分のみ

さらに!

サービス利用企業は
HULFT不要

ネットワーク回線周りの変更

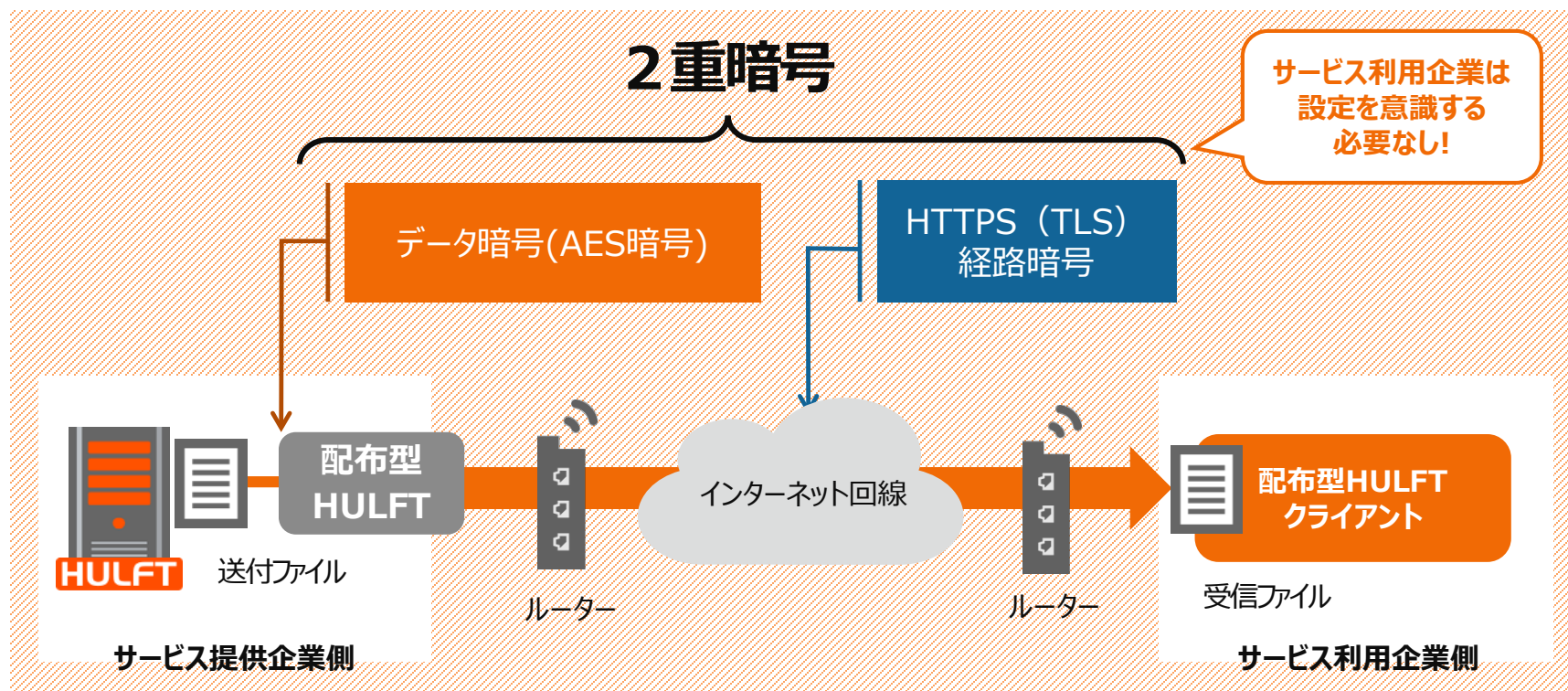


変更がシンプルだからこそ、利用者様に内容が伝わりやすい!
(移行手順書やオンサイトでの説明などのコストも圧縮)

導入はカンタンでもセキュリティは万全!

■ 通信経路の暗号化とデータのAES暗号化を自動実施

■ ネットワークの通信経路のTLS暗号と、データ自体のAES暗号の2重暗号でセキュアに通信!

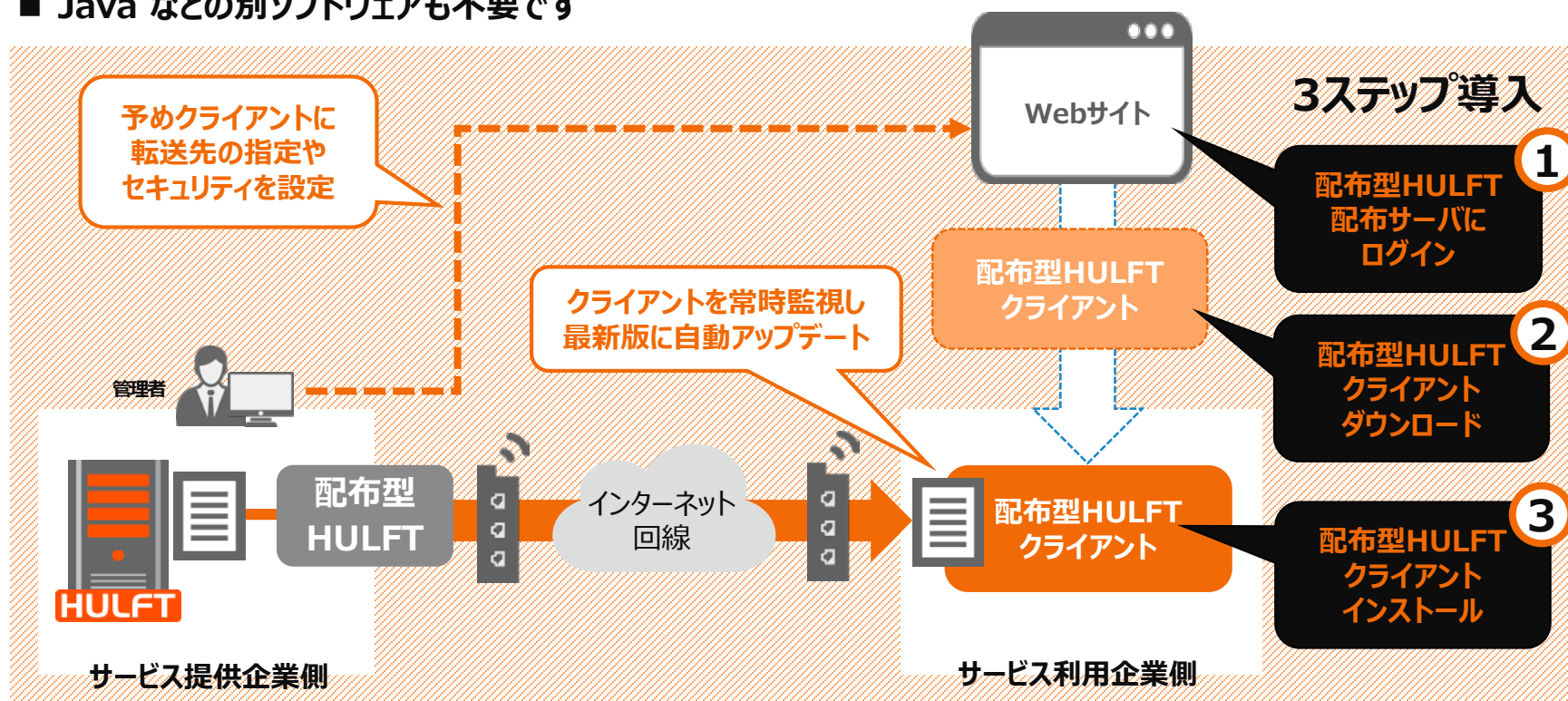


秘密情報、個人情報などの送受信にはデータ自体の暗号化が必須。
シンプルな構成にこだわり、暗号化も利用者様の手間なし!

利用者様はHULFT不要で、コスト負担もなし!

■ 利用者側クライアントの導入は3ステップ。誰でもできる!

■ Java などの別ソフトウェアも不要です



※配布したクライアントは複数の利用企業で同時にご利用いただけます。

相手先にHULFTを簡単配布(設定不要)
利用料はサービス提供企業側が一括支払い

こだわりの“2重暗号”と“3ステップ導入”とは？

■ 2重暗号

経路暗号

https による通信経路の暗号化は当然であるものの、経路暗号は完璧な暗号化とはいえません(暗号キーの授受が発生)。

データ暗号

秘密情報、個人情報には、データ自体の暗号化も対応が必要と考えAES暗号機能を標準化。

■ 3ステップ導入

利用者様の移行をストレスなく行い、
トラブルやお問い合わせなく実現する
「設定自動化」と導入を3ステップで実現。

1:ログイン → 2:ダウンロード → 3:インストール

Java などの環境を用意する必要もありません。
利用者様の構築の手間なし！を追求しております。



✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合

**ISDN回線移行を
インターネットで実現するなら、
安全、安心、確実、簡単な
配布型HULFT(仮称)をご検討ください！**



株式会社セゾン情報システムズ

HULFT事業部

エンタープライズ営業部（金融業担当）

電話

 **0120-80-8620**

E-mail

hulft_finance@saison.co.jp